

地域資源を活用したビジネスを育てる

中山間地域の自然環境や資源を生かした商品やサービスを作り出して、事業規模は小さくても外貨を獲得する取組「スモール・ビジネス」。県では、中山間地域での起業や雇用創出を目指し、「スモール・ビジネス」に取り組む事業者を支援しています。

連続講座でサポート

「新商品をつくりたい」、「販売先を広げたい」、「販促ツールをそろえたい」、「パッケージをつくりたい」

そんな課題や要望を解決するために、連続講座「もの・ことカレッジ」を開催。講座では、魅力を伝える説明やデザインなど、商品づくりの基礎を学びます。また、個別研修もあり、商品の改良など、一人一人の課題に専門家がマンツーマンでお応えしています。

講座を通して目指すのは、自分でできるようになること。課題や目標の設定、目標に向けた計画立案の方法を学んでいきます。本年度は7月頃に受講生を募集します。参加対象者など、詳しくはホームページをご覧ください。

スモール・ビジネスの
育成支援についてはこちら



一畑百貨店出雲ゆめタウン店にある「これねしまね」のコーナー。「もの・ことカレッジ」の卒業生の商品が購入できます



受講生の課題を解決する個別研修

◆「もの・ことカレッジ」受講生の声

講師のアドバイスで目標明確化

「デザインと販売戦略をプロに学びたかった」と話す福島沙織さん。1ターンした出雲市伊野地域の「梅」で特産品を作ろうと令和2年度に受講し、梅干しの商品化を目標にしました。

講師からターゲットの明確化をアドバイスされ、訴求できるパッケージデザインを考案。「イメージから作るのではなく、誰に届けたのかを見据えるようにし



講座で学んだことを仕事に生かす

森脇香奈江さん(松江市)は、平成29年度の受講生。講座で食品表示の大切さを学んだ経験から卒業後に「中級食品表示診断士」の資格を取得しました。昨年度は本講座の講師として食品表示の講義を担当し、後輩の指導にあたりました。

受講する前は商品づくりの経験もなく、「この講座が行動を起こすきっかけになりました」と森脇さん。現在は松江市八雲町で捕れたイ

